

第 1 回検討会の主な意見（まとめ）

1 税制に関する御意見

1) 周知啓発について

- ・ 税制の周知啓発をしっかりと行うべきである。
- ・ 国民のヘルスリテラシーを高めていくべきである。
- ・ 税制については、対象薬品の範囲拡大と周知啓発が重要であり、並行して、薬剤師が責任をもって服薬支援をできるようにしていくべきである。
- ・ ドラッグストアにおいて税制の広報がなされておらず、必要な患者への受診勧奨ができていない状況であり、セルメ税制の入口としての機能も果たされていないのではないかな。

2) 制度見直しについて

- ・ 税制の拡充、恒久化を目指すべきであり、必要な改善策を検討会で進めていくべきである。
- ・ 税制の対象品目について検討を行うべきである。
- ・ 税制を申告する際に紙のレシートを保存するという状況を早く改善すべきである。
- ・ 医療費控除を併用できるようにするべきである。
- ・ 人間ドックを税制の対象とするなど、税制上の優遇を考えるべきである。

3) 効果検証について

- ・ セルメ税制の本来の目的は行動変容を促すことにあるはずであり、例えば OTC 薬の売上金額を調査するなど、行動変容についても検証すべきである。

2 データベースに関する御意見

- ・ 厚労省も含めたワーキンググループで検討できればいいのではないかな。
- ・ データベースはより使いやすいものにしていくべきである。
- ・ 業界標準マスタについて議論しており、JSM-DBC と連携した議論を進めるべきである。
- ・ 重複投与の検出のためにも OTC 医薬品の電子版お薬手帳が必要であり、セルメ税制申告にも有効活用できるのではないかな。

3 その他

1) 保険者関係

- ・ 保険者努力支援制度において更に支援いただきたい。
- ・ 健保組合がセルフケア・セルフメディケーションの取り組みを進めていくことをしっかり後押し（具体的には、好事例収集・情報共有・金額支援）していくことが必要である。
- ・ 保険者から花粉症薬の OTC 化の案内を出していただきたい。

2) スイッチ OTC 関係

- ・ スイッチ化推進のために、要指導薬として、薬剤師が関与して安心して使える仕組みが重要である。
- ・ 生活習慣病薬のスイッチ OTC 化を今後検討すべきである。
- ・ 医師に対してスイッチ化した薬剤を伝える枠組みが必要である。
- ・ 健康サポート薬局で要指導薬を指導することによって、スイッチ OTC 化も進むのではないか。

3) 受診勧奨、医療のかかりかた関係

- ・ 制度への不十分な理解や過度な受診控えが起きないように、環境整備・情報発信いただきたい。
- ・ 医療のかかりかたの啓蒙については、地域によって医療資源へのアクセス状況が異なるため、地域ごとへのアプローチによって施策の差異がどのように現れるかなどマーケティングの視点も必要。
- ・ 国民が病気になる前から（健康サポート）薬局で健康相談や受診勧奨ができるよう、薬剤師も研鑽を積み、かかりつけ医や専門医との連携も図ることが必要なのではないか。
- ・ 受診勧奨の在り方についても検討すべきである。